

日本女性会議

2006しものせき

平成18年10月6日(金)・7日(土)

海峽の街、下関市で「We are~わからないから信じあう。知らないから支えあう。」をテーマに23回目の日本女性会議が開催され、委員3名が参加しました。

6日は内閣府男女共同参画局長から「進み行く私たちの現在(いま)」と題して、女性のチャレンジ支援施策として再就職の支援、待遇の改善、男女の働き方の見直しなどを行った、との報告がありました。白石真澄さんの講演では「女性が働きやすい社会環境を作ることが出生率を上げることになり、女性の労働力率が高い国は出生率も高い。今こそ男女共同参画社会の実現のために一人ひとりが意識を変える必要があります。男女が責任を分かち合い協調していく時代です」と提案されました。



7日は12の分科会のうち、「次世代育成支援」に参加しました。「男性と女性、行政と市民の連携・協働によるパートナーシップや目的に向けた前向きな戦略が必要とされる」と提言されました。子どもたちが様々な体験の場を通して世代を越えた交流の中から、自分を大切に生き、人を大切にする豊かな人間に育っていくことを願い、子育てをみんなで支えていく必要性を深く感じました。

市内でのPR活動

はだの市民が創る男女共同社会推進会議は

- 「団塊サミットin丹沢」平成18年12月2日(土)
 - 「れんきょう設立5周年記念事業」平成19年1月19日(金)
- で活動内容を展示し、皆さんにPRしました!



講演する日野原重明氏(1月19日)

編集後記

20代から70代までのメンバーで「パートナー」を製作しています。大きなページを任せられたり、小さい記事で少し楽だったり、担当するものは時によりさまざまですが、いろいろ意見を出し合って、和気あいの雰囲気で一生涯懸命創っています。まさに男女共同参画社会の理想的な形?を見るようです。男女共同参画社会の根っこは家庭だと思いますが、そこから芽が出て、育てて「パートナー」という実を年2回付けています。

平成18年度 広報部員 榎田 勝之(部長)・伊藤 広生・大槻 恵子・小山田 須美恵・仁 義秋・富田 有美・橋本 和子

2006男女共同参画 NPOフォーラムinかながわ

平成18年11月11日(土)

あいにくの雨の中、市役所に集合してバスで江の島へ。今回は秦野市が実施した「はだの女性カレッジ」の参加者と「女性起業家講座」受講生との交流も兼ねての研修会でした。シンポジウム「女と男の再チャレンジ~シニアが心豊かに生きる道!」、西田小夜子さん(作家)の基調講演に続き、沖藤典子さん(かながわ女性会議代表)のコーディネーターで3人のパネリストがそれぞれの立場から男女の再チャレンジについて提案しました。

午後は各催しに参加することで、県内で活動する方々と交流し、今後の男女共同参画社会を考える有意義なひとときを過ごしました。



STOP 女性への暴力

平成18年11月18日(土) 啓発活動を実施

推進会議では「女性に対する暴力をなくす運動」として暴力に関することや相談窓口案内などを載せたチラシやポケットティッシュをジャスコ秦野店で600部配布しました。

「殴る」「ける」だけが暴力ではありません。配偶者、パートナーからの精神的暴力も、重大な人権侵害で決して許されるものではありません。ひとりで悩まず専門の相談員に相談してください。

女性のための悩み相談

夫婦や家族の問題、こころや生き方、夫やパートナーからの暴力(ドメスティック・バイオレンス(DV))で悩んでいませんか。気軽にご相談ください。

*費用は無料、秘密は厳守します
相談日 毎月第2・3・4火曜日
午前10時~12時
午後1時~3時

- 電話相談 専用電話 (83) 1812
- 面接相談 予約制
予約・問い合わせ 市民活動推進室(82)5118
相談場所 女性相談室
【市民活動サポートセンター】
*DVなど緊急の連絡は、秦野警察署生活安全課 (83) 0110

主な内容

- 彼女は自慢のパートナー
- 公開学習会「私が創る男女共同参画社会」
- 市民の日実施 アンケート結果報告



彼女は自慢の PARTNER

あなたはどんな夢を持っていますか?

せっかくの人生、すてきな夢を持っているなら、パートナーに話して挑戦しませんか?

時間がないから...、仕事が忙しいから...、子育て中だから...、女性だから...、主婦だから...と躊躇(ちゅうちよ)していませんか?

さあ、飛び出しましょう!

仕事が、地域が、学校が、会社が、趣味の世界が、なにによりあなた自身の未来が、あなたの決断を待っています。

発行 はだの市民が創る男女共同社会推進会議
事務局 秦野市役所企画部市民活動推進室市民活動支援班
秦野市桜町1-3-2
TEL 0463-82-5118 FAX 0463-82-6793
e-mail s-katudo@city.hadano.kanagawa.jp

女性が動かす民主主義

～インドの女性NGOからの報告～

11月26日(日)本町公民館において、「女性が動かす民主主義～インドの女性NGOからの報告～」をテーマにした公開学習会を開催しました。

竹中千春氏(明治学院大学教授)の基調講演に続き、11グループに分かれてワークショップを行いました。講演内容の一部をご紹介します。参加者88名(女性64名、男性24名)



講師紹介

明治学院大学教授。専門は国際政治、インド現代政治。著書に「世界はなぜ仲良くできないの?暴力の連鎖を解くために」ほか。

基調講演

民主主義というタイトルを掲げましたが、民主主義とは大上段に構えることではなく、基本的にはグループのつくり方だと思います。グループをどうつくるか、その中で皆がどうかかわるような行動や態度でいくのか、何ができるのか、どうしたら一緒に暮らせるのか。したがってボランティアや専門知識を有している人々を動員しながら、地域や市民社会の中から民主主義というのは動いていくものだと思います。

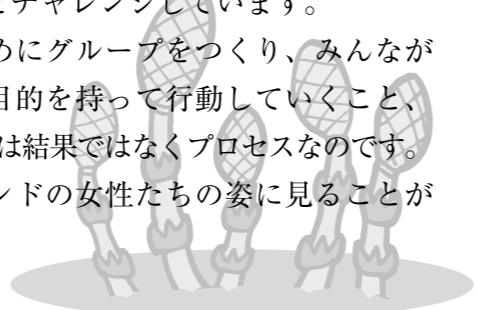
インドはNGO大国と言われるほど、たくさんのNGO(非政府組織)があります。その理由として、独立後ずっと民主主義で言論や政治的な自由が比較的保障されてきた社会だということが挙げられます。それで、草の根の運動が何十年も前からありました。さらに、政府の予算が少ないため、さまざまな行政サービスがあまりなく、政府ではないところ、つまりNGOがやるしかないのです。

このようなたくさんのNGOの一つにマヒラー・パンチャーヤット(女性の自治会組織)があります。日本の町内会と似ていますが、女性たちが自由に組織をつくって決められた日と時間に集会所に集まり、自分の抱えている問題や地域社会に共通する問題を話し合ったり、地域やNGOの活動について打ち合わせをしたりします。

ここでは、裁縫や識字教育のほか、HIVを含めた病気とその予防の知識、女性の体と妊娠の仕組みについての知識を学ぶことができます。また、お金を出し合って小さな銀行をつくる相互扶助的な活動もしています。さらにスラムや貧しい地域では、マフィア的な組織があったり、異なる宗教や民族もかかわってくるので、自分の権利を守るための法律相談なども行っています。その中で勉強して訓練を受けた人の中から、実務をこなす力をつけた「草の根法律家」と呼ばれるような人も出てきています。

ヒンズーとイスラムなどの宗教の違いや、カーストの違いで人間扱いをされない差別が残っているスラムでは、みんなで一緒に食事や勉強をすることは大変なことです。しかしNGOがあるスラムでは、女性たちはNGO活動を通してカーストを越え、宗教を越え、今まで対立をさせてきたバリアを乗り越えようとチャレンジしています。

何かをするためにグループをつくり、みんなが話し合いをし、目的を持って行動していくこと、つまり民主主義とは結果ではなくプロセスなのです。まさにそれをインドの女性たちの姿に見ることができます。



ワークショップ

「民主主義で問題を解いてみよう」

ワークショップでは「いじめ」に関する新聞記事が提示され、11グループに分かれて話し合いました。

【課題】

- ①この記事をどのように理解するか。
- ②どのような対応と問題の解決が可能か。
- ③だれがそのイニシアチブを取るか。



45分という短い時間でしたが、全員が発言して、さまざまな意見、感想、提案が出て、とても充実した時間を過ごせました。

竹中先生からも「皆さんには一人ひとりが知り合いになっていくコミュニケーション能力があり、みんなが発言し、聞く耳を持つことができました」と講評をいただきました。参加された方は、民主主義とは「みんなが主人公」であり「プロセス」こそが大切であることを実感したのではないのでしょうか。



最後に「男女共同参画というのは、女性だけの問題ではなくて、今まで声が出なかった人も声を出す。そしてみんなで一緒に新しい21世紀の社会をつくっていきましょう」とのお話をいただきました。

参加者の声

身近な問題だったので容易に意見を出し合えた。(50代・男性)

結論を求めているので話しやすかった。(50代・女性)

もう少し男性が多く参加して欲しい。(60代・女性)

時間が不足でしたが良い体験だった。(60代・男性)

全員が自由に発言できた。(50代・女性)

市民の日 アンケート調査結果

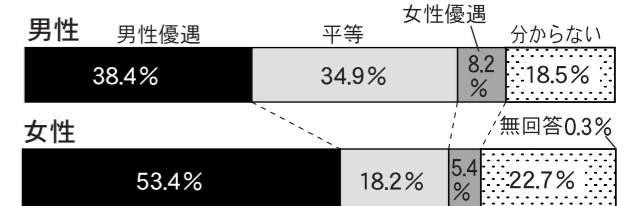
小春日和に恵まれ大勢の人出でにぎわった11月3日の市民の日。運動公園の一角で、男女共同参画社会についてのアンケートを求めました。

老若男女の皆さん498名(男性146名、女性352名)が快くアンケート用紙に書き込んでくださいました。「焼きそば」のお陰かな?

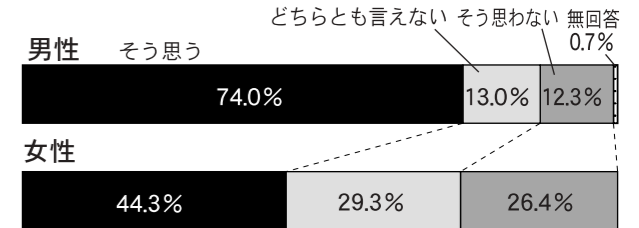
アンケート結果は今後の活動を進める上での参考にさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

(紙面の都合上、調査結果は一部抜粋して掲載します。)

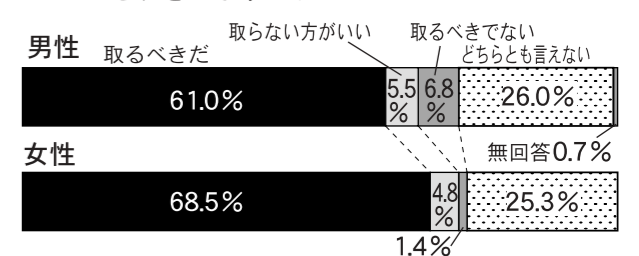
●男女の地位は平等になっていると思いますか。



●男の子は男らしく、女の子は女らしくしつける方がよい。



●男性が育児休業を取得することについて、あなたはどのように思いますか。



社会がいじめや家族の問題で胸を痛めている今日この頃、歩行者の明るい笑顔がとても印象的でした。どうか心の絆をいつまでも大切に。

アンケート調査の様子